

Miyanohamamichi—Shokuju 101, Miyanohamamichi Chichijima Ogasawara—Mura
Tokyo 100—21

1985年9月18日 受理

1. 〒100—21 小笠原村父島字宮之浜道 宮之浜道職住101

茅ヶ崎市におけるタカブシギ *Tringa glareola*小群の越冬について

新倉三佐雄¹

タカブシギ *Tringa glareola* は、私の住む神奈川県下では、春と夏から秋にかけてのシギ・チドリ類の渡りのシーズンに、比較的普通に観察されるが、近年茅ヶ崎市内の湿田で、小群が越冬するのを観察したので報告する。

1. 越冬場所

相模湾の海岸線から北側内陸方向に約3km入った茅ヶ崎市赤羽根地区および、同所から北西に約1.5kmのところにある茅ヶ崎市堤地区、下寺尾地区にある湿田である。赤羽根と堤・下寺尾の湿田の間には、主にゴルフ場に利用されている海拔30~50mほどの丘陵がある。赤羽根の湿田は、この丘陵の南側のすそのにひらけており、面積約20haである。堤・下寺尾の湿田は、その北側に広がる丘陵と主にゴルフ場に利用されている丘陵にはさまれ東西に細長く続いており、面積約18haである。

2. 越冬状況

1) 1981年から82年にかけての冬

82年1月20日に堤・下寺尾の湿田で6羽を初めて観察。その後1月25日7羽、1月31日6羽、2月5日5羽、2月11日4羽を観察した。観察場所は、堤・下寺尾の西側の一画で、刈り取った後の湿田と休耕地が農道に沿って広がる環境である。ここには、厳冬期にも凍らないわき水の流れが湿田内を流れているところがあり、冷え込んだ朝などタカブシギか、そのような場所で採餌する姿が観察された。

2) 1983年から84年にかけての冬

83年11月13日5羽、11月15日9羽、11月20日6羽、12月14日2羽、12月24日6羽、12月29日2羽を赤羽根で観察。84年1月15日5羽、2月11日3羽、2月17日4羽、3月11日2羽を堤・下寺尾で観察した。この冬最初に観察した場所は、赤羽根の湿田の西側のはずれに近いところであったが、日



図1. タカブシギの成鳥冬羽。
Fig. 1. Winter plumage of *T. glareola*.

がたつにつれて徐々に東側に移動して採餌するのが観察された。84年1月になると、赤羽根のこの場所では観察されなくなったが、堤・下寺尾で1月15日以降観察されるようになった。個体識別ができなかったので不明であるが、赤羽根での採餌場所の移動のようすなどから、赤羽根の群れの一部または全部が、丘陵を越えて堤・下寺尾の湿田に移動した可能性も考えられる。

以上、2冬のタカブシキの越冬状況であるが、81年から82年に、かけての冬は、最大7羽が堤・下寺尾に、83年から84年にかけての冬は、最大9羽が赤羽根及び堤・下寺尾の湿田に越冬したことになる。なお、その年の降水量等により湿田の状態に変化がみられ、84年から85年にかけての冬は、赤羽根地区で湿田の乾燥化がすすみ、タカブシキが餌をとれるような湿田がほとんど消失してしまった。また、堤・下寺尾地区では、湿田の埋立が進んでおり、県下では少なくなってしまった湿田が、さらに減少するのは残念である。

THE WOOD SANDPIPER *TRINGA GLAREOLA* WINTERED
ON THE FIELD OF CHIGASAKI CITY

MISAO NIIKURA¹

In winter of 1981/82 and 1983/84, The Wood sandpiper *Tringa glareola* was observed continuously on the harvested rice field of Chigasaki City, Kanagawa prefecture. The maximum number of birds seen at one time was nine. Wintering records of this migratory species in northern and central Japan are rare.

4-31, Deguchi-cho, Chigasaki-shi, Kanagawa 253

1985年9月30日 受理

1. 〒253 茅ヶ崎市出口町4-31 (神奈川支部)

RECORDS OF PECTORAL SANDPIPER
(*CALIDRIS MELANOTOS*)
FOR OKINAWA PREFECTURE

Douglas W. McWhirter¹

The most recent check-list of Japanese birds (O.S.J. 1974) states that the Pectoral sandpiper occurs sparingly in Japan in autumn with records from the S. Kuriles, Hokkaido, and Honshu. None were recorded in Okinawa Prefecture. Likewise, check-lists for the prefecture (Hachisuka and Udagawa 1953, W.B.S.O. 1978, W.B.S.Y. 1982, Ryukyu-Shinsha 1983) contain no record of the species. The